

第5学年国語科学習指導案

日時 令和4年12月7日(水) 5校時
 学校名 小金井市立緑小学校
 対象 第5学年1組 35名
 授業者 片平 匠

1 単元名 相手を納得させる文章を書き、新聞社へ投稿しよう

2 題材名 あなたは、どう考える

3 単元目標

- ◎目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり、関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思B(1)ア)
- ◎目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書く*など、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思B(1)ウ)
- ◎文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。
- ◎文と文との接続関係、話や文章の種類とその特徴について理解することができる(知(1)カ)

4 単元の評価規準

知識・技能	文と文との接続関係、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。
思考・判断・表現	目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
主体的に学習に取り組む態度	文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。

8 本時の内容(1/6時間)

(1) 本時の目標

- ・学習のめあてを適切に立て、見通しをもって学習に取り組むことができる。

(2) 展開

	○学習活動 「発問」 ・児童の反応	◇指導上の留意点 ◆評価
導入	○「もっとこうなったらいいのにな。」と思う事柄について考える。 T: 自分の身の回りや世の中のことで、もっとこうなったらみんなのためになるのになあと思うことはありませんか? C: 学校にシャーペンを持ってきてもいいことにしてほしい。鉛筆はすぐ芯が折れるから。 ○実際に投稿された2つの意見文を見て、自分を取り巻く身近な人や社会に、自分の意見を伝えて納得してもらうための「意見文」というものがあることを知る。 T: 2つの意見文を読んで、どう思いましたか? C: すごく納得させられました。	◇意見文のテーマになりそうな考えを全体で共有できるようにする。 ◇意見に対して理由や根拠が明確になるようにする。 ◇見本となる意見文を読んだ感想をもとに、自分の意見で読み手の考えや気持ちを動かすことができることをおさえる。

	<p>○この単元では意見文を書くことを知り、学習の大問題を立てる。</p> <p>T: この単元の学習では意見文を書きます。みんなはどんな意見文を書けるようになりたいですか？</p> <p>C: 相手に納得してもらえる意見文。</p> <p>C: 自分の言いたいことがちゃんと伝えられる意見文。</p>	<p>◇どのような意見文を書きたいのかという児童の願いをもとに、全体で考える学習の大問題を設定する。</p>
展開 1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>大問題：相手を納得させるような意見文には、どんな工夫がされているのだろうか。</p> </div> <p>○「大問題」に対する予想をする。</p> <p>T: 相手を納得させるような意見文には、どんな工夫がされていると思いますか？</p> <p>C: 自分の考えだけじゃなくて、理由も書かれている。</p> <p>C: 文章の流れも工夫した方がいいかも。</p> <p>○「①学習の確認事項」を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「単元のめあて」を読み、学習内容を確認する。 ・全6時間を目安に学習を行うこと。 ・500文字程度の意見文を書いて、「伝えたい相手」に届ける。 ・毎時間の最初に、友達の学習内容を共有して、ミニレクソンを行う。 ・毎時間の最後に、本時の学習の振り返りを「学習の積み重ね」に記入し、学びをはっきりさせる。 ・大問題を再確認し、単元の終わりに結論を出せるようにする。 ・「学習者のめあて」に、学習を通してできるようになっていたことを記入する。 ・「学習の積み重ね」を使用して、毎時の振り返りの際に、自分が「学んだこと」とこれから「知りたいこと」ことを明確にする。 <p>○「②学習の内容」の使い方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画を立てたり、下書きを書いたりなども含めて、自分の学習の足跡として使用する。 	<p>◇大問題に対して事前に予想を立てて共有することで、意見文の文章構成の工夫についての学習の見通しを持てるようにする。</p> <p>◇「スクールタクト→国語→あなたは、どう考える」に2つのスライドを用意する。</p> <p>①学習の確認事項 「単元のめあて」「大問題」「学習者のめあて」「結論」「学習の積み重ね」</p> <p>②学習の内容 白紙スライドのみ</p> <p>◇本単元では、グループではなく一人一人が「誰に向けて」「何を伝えたいのか」を考えて意見文を書くことを伝える。</p> <p>◇前回の学習でスライドを上手に活用していた児童を紹介し、スライドの活用の仕方に見通しを持てるようにする。</p>
展開 2	<p>○「大問題」をもとに、「学習の内容」の白紙のスクールタクトを活用して意見文を書くための学習活動を開始する。</p> <p>T: それでは、それぞれ学習をスタートしましょう。</p> <p>C: 早速テーマを決めて、意見文を書き始めよう。</p> <p>C: 学習計画を立てて、意見文について考えよう。</p> <p>C: 見本を見つけて、意見文を書きやすくしよう。</p>	<p>◇各自がラーニングチョイスを行いながら、自由進度で学習を進められるようにする。悩んでいる児童がいた場合は、これまでの学習を振り返ったり、ラーニングチョイス一覧を用いたりして、学習が進められるように教師が支援を行う。</p>

<p>まとめ</p>	<p>○「学習の積み重ね」を使い、本時の学習活動を振り返り、次時の学習の見通しを立てたり、学習計画を修正したりする。</p> <p>T:今日はどんなことを学習したのか、友達の活動をみんなでも共有したいと思います。それを参考に、今日の「学習の積み重ね」を記入しましょう。</p> <p>C:意見文には、自分がそう考えた「理由」が書いてあることが大切だと思う。</p> <p>C:「理由」は1つではなく、いくつかあるとさらに説得力が増すと思う。</p>	<p>◇「学習の内容」を使い、友達がどのような活動を行なったのかを全体で共有する。</p> <p>◇自分の学びが明確にならない児童には、教師が児童の「学習の内容」を評価して、学びを言語化して支援する。</p> <p>◇本時の児童の「学習の積み重ね」を次時の始めに紹介し、学びを広げたり深めたりできるようにする。</p> <p>◆【主】学習のめあてを適切に立て、見通しをもって学習に取り組むことができたか。(行動・スライド)</p>
------------	--	---

